

明治大学大学院の学生支援制度



研究支援

研究業績のためのさまざまな助成金制度

学術論文投稿・掲載料助成

学会誌や学術誌への論文掲載料の助成を行います。

学会研究発表助成

日本学術会議に登録されている学会または国際学会において学術研究の発表を行う場合に、その交通費および学会発表参加登録料について、助成金を交付します。

大学院生による研究プログラム

① 海外研究プログラム ② 研究調査プログラム

大学院生自らが計画する、国内外における研究調査等のプログラムを募集し、審査のうえ経費の一部を助成します。

外国語学術論文校閲料助成

国際的な学術的刊行物等へ投稿する論文の外国語校閲料の助成を行います。

研究科間共通科目による英語研究力教育

コピーカード助成制度

大学院生の研究活動に対する助成の一環として、在籍する大学院生を対象に、次のとおりコピーカードを配付します。

コピーカード種類	コピーカード度数	配付期間
博士後期課程研究助成用	上限1000度数	毎年度所定の時期に配付
博士前期・修士課程研究助成用	上限600度数	毎年度所定の時期に配付

※2026年1月現在の制度です。制度の改廃を行うことがあります。
※各制度により、応募条件・助成回数・金額の上限等があります。

研究論集

大学院生の研究成果を発表するための貴重な場として、研究科別に法学研究論集、商学研究論集、政治経済学研究論集、経営学研究論集、文学研究論集、情報コミュニケーション研究論集、教養デザイン研究論集、国際日本学研究論集、理工学研究論集、農学研究論集、グローバル・ガバナンス研究論集を年に2回発行しています。各研究論集に論文が掲載されるためには、予備登録を行った上で論文を提出し、各審査委員による審査を受け、論文の評価が一定基準を満たさなければなりません。この研究論集掲載に向けて論文を執筆することは、修士論文・博士論文の執筆や学会誌投稿のための準備となるでしょう。

日本語論文作成サポート

留学生対象

ほとんどの留学生は、論文を作成する際、非常に苦労します。日本語でどう表現してよいか、わからないからです。特に論文では、独特な形式や文言を用いるため、日常的な日本語が得意な人も、改めて学習する必要があります。本大学院では、論文作成における日本語力向上を目指す留学生を対象として、『日本語論文指導講座』と『日本語論文添削指導』を行います。この2つのサポートを積極的に活用して、レベルの高い論文を作成するとともに、各自の日本語ライティング力アップを目指します。

大学院生による研究プログラム 採択プログラムの一部紹介

【政治経済学研究科】

- 戦間期ヨーロッパの国際経済関係に関する外交史研究
ー1920年代フランス外交の視角からー
- インド・パンチャーヤト制度における開発行政と村民とのかわり
ー西ベンガル州ジャークラム県アイボニ村の村議会での聞き取り調査からー

【文学研究科】

- 異種混濁的な文化的アイデンティティの生成をめぐる地理学的研究
ー大東諸島を事例にー

【国際日本学研究科】

- 東北大学漱石文庫所蔵オスカー・ワイルドThe Picture of Dorian Grayの書き込み調査

【理工学研究科】

- 大型施設での複合同期計測による壁せん断乱流の乱れ構造の解明
- 電荷蓄積と励起子消光特性の理解に基づく有機EL素子特性の最適化
- ノルウェー・ブリッゲン地区の木造倉庫群の増築過程及び空間的特質に関する研究
- Flood-Resilient Architecture in Southeast Asia: the Study of Strategies and Methods to evaluate the Symbiosis Prototype Design in Coastal Cities

【農学研究科】

- 温泉環境に棲む多細胞生物の新規生物資源の探索と培養系の確立
- 日本固有種ガクアジサイ野生種における耐塩性機構の解明
- 塩分ストレスがC3、C4植物の生育、光合成に及ぼす影響を解明するための植物生理学的手法の調査
- 寒冷地である中国吉林省におけるハトムギの栽培方法及び地産地消の実態把握調査

キャリア支援

本学では、大学院生に特化した「キャリアサポートプログラム」を実施しています。同プログラムは、アカデミアを志す大学院生への支援(アカデミア支援)と、民間企業や公務員などへの就職を行う大学院生への支援(就職支援)により構成され、各種講座やガイダンスの実施により大学院生のキャリアサポートを後押ししています。

明治大学大学院「キャリアサポートプログラム」
Webページ



アカデミア支援

日本学術振興会特別研究員制度

日本学術振興会の「特別研究員」制度は、わが国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保に資することを目的として、大学院博士後期課程在学者および大学院博士後期課程修了者などで、優れた研究能力を有し、大学その他の研究機関で研究に専念することを希望する者を「特別研究員」に採用し、研究奨励金を支給する制度です。

この「特別研究員」に採用されることは、自立した研究者としての第一歩となり、将来に向けたキャリアパスの観点からも重要な意味を持っています。優れた研究者を育成することは、教育研究機関としての大学院の責務です。本学大学院は、より多くの方が、研究者の登龍門である「特別研究員」になれるよう、説明会や申請書添削講座の開催などを通じて支援を行っています。

学振申請者支援助成制度

本学大学院では、学振特別研究員を目指す学生を支援するために、下記の支援制度を設けています。

- 学振特別研究員採用者への支援(特定研究者育成奨学金)
標準修業年限内の学費免除
- 学振特別研究員再申請の支援(学振チャレンジ助成金)
不採用者に対して助成金を支給

※予算状況によって支給金額の変動または無支給となる場合があります。

大学院博士後期課程 国際共同研究推進プログラム

本学大学院では、大学院博士後期課程に在籍する者が、海外の研究機関において、現地の研究者と共同して研究に従事することを奨励するために、往復航空費・滞在費を対象とした助成を行っています。

「キャリアサポートプログラム(アカデミア支援)」の一例

- 1 学振特別研究員申請書添削サポート
学振特別研究員への申請予定者が作成した申請書を、本学教員が添削を行います。1対1の面談の場で添削内容をフィードバックし、各申請予定者へアドバイスします。
- 2 学振申請書の書き方講座
申請書の構成と書き方を理解することに重点を置いた、高評価を受けやすい申請書の書き方やコツについての講座を開催しています。
- 3 研究職希望者支援セミナー
本学博士後期課程を修了し、若手教員・研究者として活躍しているOB・OGを招き、これまでのキャリアに関する体験談報告会と座談会を開催しています。
- 4 研究内容プレゼンテーションセミナー
本学教員が講師となり、学会や就職活動等、研究発表に不可欠なプレゼンテーションスキルの向上を目指します。

明治大学大学院の学生支援制度

就職支援

ジョブ型研究インターンシップ

本学では文部科学省主導の事業として、今後、企業等で拡大が見込まれるジョブ型採用を見据え、産業界と大学で連携して行う取組みである「ジョブ型研究インターンシップ制度」に参画しています。

ジョブ型研究インターンシップとは、学生(当面の間は博士後期課程の学生が対象)が企業の研究所等において、原則2か月以上にわたり有給(初任給程度)で研究活動を行うプログラムです。

企業からは業務内容や必要とされる知識・能力等が記されたジョブディスクリプションが示され、実際の業務に取組む経験を通じて、国際競争に耐え得る研究力に裏打ちされた実践力を養成することを目的としています。

「キャリアサポートプログラム(就職支援)」の一例

1 就職キャリア支援センター

「面接練習会」や「企業説明会」、「OBOG 懇談会」等、各種就職支援イベントを実施しています。日程や内容については、明治大学独自の就職支援・求人情報検索システムM-Careerに登録して確認してください。

就職キャリア支援センター
Webページ



2 院生キャリアレポート

企業や公務員に採用内定を得た大学院生が、後輩のために作成した就職活動報告です。就職活動スケジュールや、自己PRの内容、先輩からのアドバイスなどを業界別に知ることができます。

共通支援

「キャリアサポートプログラム(共通支援)」の一例

1 個別相談会

キャリアカウンセリング資格を有するカウンセラーが、研究職就職に関する相談や、博士後期課程修了後のキャリアプランなど、大学院生固有の悩みや疑問、不安に関する相談にマンツーマンで対応します。

2 大学院生キャリア開発・育成支援制度

院生のトランスファラブルスキルの習得や能力開発を目的としたキャリア開発・育成支援制度です。明治大学リバティアカデミー講座内の対象講座のうち、1講座分の受講料を大学が費用負担します。

教育職員免許状

修士の学位を有する者で所定の条件を満たした場合、中学校あるいは高等学校教諭の「専修免許状」を取得することができます。本大学院において取得できる専修免許状の教科は以下のとおりです。

■ 教育職員免許状の種類および教科

研究科	専攻	中学校の教科	高等学校の教科
法	公法学	社会	公民
	民事法学	社会	地理歴史・公民
商	商学	社会	公民・商業
政	政治学	社会	地理歴史・公民
	経済学	社会	地理歴史・公民
営	経営学	社会	公民・商業
文	日本文学	国語	国語
	英文学	外国語(英語)	外国語(英語)
	仏文学	外国語(フランス語)	外国語(フランス語)
	独文学	外国語(ドイツ語)	外国語(ドイツ語)
	文芸メディア	国語	国語
	史学	社会	地理歴史
	地理学	社会	地理歴史
	臨床人間学	社会	公民
情コミ	情報コミュニケーション学	社会	公民
教養	教養デザイン	社会	公民
国際	国際日本学	外国語(英語)	外国語(英語)
理	応用化学	理科	理科
	数学	数学	数学
	物理学	理科	理科
農	農芸化学	理科	理科
	農学	—	農業
	農業経済学	社会	公民
	生命科学	理科	理科
先端	現象数理学	数学	数学
	先端メディアサイエンス	—	情報

経済支援

奨学金制度

本学では、大学院生への経済的支援を充実させることで、優れた資質を有する大学院生が研究活動に存分に専念できる機会を保障します。それにより、大学院研究活動全体の一層の活性化を図っています。

【博士前期・修士課程の奨学金】

対象となる研究科

区分	名称	奨学金額等
給費	明治大学大学院研究奨励奨学金B	博士前期・修士課程に入学した者のうち、成績優秀者に所定の在学期間給付(2年次継続審査あり)。選考は研究科ごとに行われ、出願制ではありません。博士前期・修士課程授業料年額2分の1相当額
貸費	日本学生支援機構 第一種奨学金(無利子)	月額5万円または月額8万8千円から選択
	日本学生支援機構奨学金 授業料後払い制度(無利子)	授業料と生活費奨学金(月額0円、2万円、4万円から選択)を貸与する制度
	日本学生支援機構 第二種奨学金(有利子)	月額5万円、8万円、10万円、13万円、15万円から選択

【博士後期課程の奨学金】

対象となる研究科

区分	名称	奨学金額等
給費	明治大学大学院研究奨励奨学金A	博士後期課程に入学した者のうち、成績優秀者に所定の在学期間給付(2、3年次継続審査あり)。選考は研究科ごとに行われ、出願制ではありません。博士後期課程授業料年額2分の1相当額
貸費	日本学生支援機構 第一種奨学金(無利子)	月額8万円または月額12万2千円から選択
	日本学生支援機構 第二種奨学金(有利子)	月額5万円、8万円、10万円、13万円、15万円から選択

【その他の奨学金】

区分	名称	奨学金額等
給費	民間団体・地方公共団体の各種奨学金	募集の都度、学内ポータルサイト「Oh-o! Meiji」等で周知します。
その他	明治大学・金融機関提携「教育ローン」	本学学生を対象とした金融機関提携「教育ローン」です。金融機関の審査によっては融資が受けられない場合があります。

【外国人留学生対象】

名称	奨学金額等
明治大学私費外国人留学生奨学金	月額5万円(6か月分30万円を一括支給) 成績要件:なし 家計基準:あり 申請:必要 選考:あり
明治大学私費外国人留学生学業成績優秀者助成金	20万円(一括支給) 成績要件:GPA3.00以上 家計基準:なし 申請:必要 選考:あり

以上の奨学金は、2026年度実施予定のものです。以後、制度の変更や新設などを実施する場合は、詳細は、明治大学ホームページに記載しますのでご覧ください。

RA・TA制度

本学では、大学院生が将来研究者や教員になるために必要な力を養うトレーニングの機会を提供することを目的とした、RA(Research Assistant:研究補助業務従事者)およびTA(Teaching Assistant:教育補助業務従事者)制度を設けています。

RA制度は博士後期課程の大学院生を対象とし、所定の研究プロジェクト等における研究補助業務に従事させることにより、若手研究者としての研究能力の育成や研究活動水準を高める機会を提供しています。TA制度は博士前期・修士課程、博士後期課程の大学院生を対象とし、学部や大学院の授業補助業務に従事させることにより、授業運営方法などを実践的に学ぶ機会を提供しています。

RA制度・TA制度はいずれも、大学院生の研究活動に支障をきたさないよう十分配慮がなされた業務内容となっており、また、勤務時間に応じて一定の給料が支払われるため、経済的支援の役割も果たしています。

助手制度

本学では、博士後期課程の大学院生を対象に、若手研究者の養成および博士学位の取得促進を主な目的とした助手制度を設けています。

助手は、自身の研究に専念するほか、学部等の教育補助業務に一定時間従事することが求められますが、任期中は毎月一定の給料が支払われます。本学独自の制度で厚生年金保険、健康保険および雇用保険の対象になるなど手厚い支援内容になっています。大学院生は助手の業務を通じて、経済的支援を受けると同時に、研究力や教育力等の力を養うことができます。

教育訓練給付金制度

厚生労働省による、教育訓練給付金制度が右記の研究科専攻で適用されています。

研究科	専攻
法	公法学
	民事法学
商	商学
政	政治学
	経済学
営	経営学
文	臨床人間学
情コミ	情報コミュニケーション学
教養	教養デザイン
国際	国際日本学
農	農芸化学
	農学
	農業経済学
	生命科学

明治大学大学院の学生支援制度

経済支援

大学院ファイナンシャル・プラン(授業料や経済的支援等の情報)

本学では、大学院生への経済的支援等を行うため、入学時の入学金の減免制度、学費減免等の奨学金制度、院生の研究活動を支援するための制度など、充実した支援制度を揃えています。

■ 修学・研究活動等に係る経済的負担の軽減を図るための措置

入学金減免制度

制度内容	対象
博士前期課程・修士課程	
● 明治大学の学部卒業生 および大学の学部から飛び入学する場合	前
博士後期課程	
● 本学大学院博士前期課程修了者	後
● 本学学部卒業生で他大学院修了者	後

奨学金制度 ※併用の可否は各制度詳細を参照

制度内容	対象
明治大学独自の給費奨学金制度	
● 明治大学大学院研究奨励奨学金	○
● 明治大学私費外国人留学生奨学金	○
● 明治大学私費外国人留学生学業成績優秀者助成金	○
● 特定研究者育成奨学金	後
● 明治大学災害時特別給費奨学金	○
明治大学以外の制度	
● 日本学生支援機構奨学金(貸与)	☆
● 民間・地方公共団体奨学金	☆

研究活動支援制度

制度内容	対象
明治大学独自の研究支援制度	
● 助手制度	後
● TA制度	○
● RA制度	後
● 研究活動への各種助成制度	
— 大学院生学会研究発表助成	○
— 大学院生海外研究プログラム/大学院生研究調査プログラム	○
— 外国語能力検定試験受験料助成	○
— 学術論文投稿・掲載料助成	○
— 外国語学術論文校閲料助成	○
— 留学予定者語学講座受講料助成	○
— コピーカード助成	○
— 大学院博士後期課程国際共同研究推進プログラム	後
— 学振チャレンジ助成金	後
● 各研究科の基金・資金にもとづく研究助成制度	☆
明治大学以外の制度	
● 日本学術振興会特別研究員制度【日本学術振興会】	○
● 一般教育訓練給付制度【厚生労働省】	○

留学等支援制度

制度内容	対象
明治大学独自の留学支援制度	
● トップユニバーシティ留学助成金	○
● 明治大学外国留学奨励助成金	○

※制度は変更となる可能性があります。詳細はHPなどで募集要項等を確認してください。

【対象】 前：博士前期課程・修士課程のみ対象
 後：博士後期課程のみ対象
 ○：博士前期課程・修士課程、博士後期課程共に対象
 ☆：それぞれの制度詳細を参照

学費・その他の納付金(参考)

※ 下記の納付金は、2026年度入学者のものです。2027年度入学者の納付金は、合格者に交付される「入学手続の手引」を参照してください。なお、2027年度入学者の学費等は、決定次第、本学ウェブサイト大学院ページにおいても公表します。

■ 博士前期課程・修士課程

(単位:円)

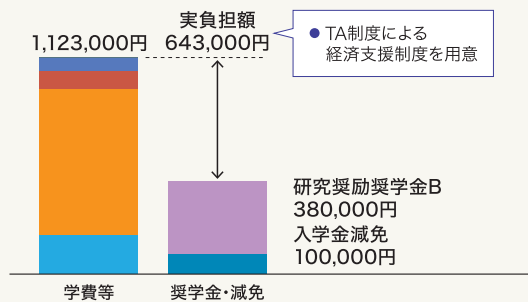
科目	研究科(専攻)	研究科(専攻)			理工学		農学	
		法学/商学/政治経済学/経営学/文学(臨床人間学を除く)/情報コミュニケーション/教養デザイン/国際日本学	文学(臨床人間学)	先端数理科学	建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系を除く	建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系	農芸化学・農学・生命科学	農業経済学
学費	入学金	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
	授業料	560,000	560,000	760,000	760,000	760,000	760,000	688,000
	臨床指導料	-	50,000	-	-	-	-	-
	教育充実料	60,000	60,000	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000
	実験実習料	-	-	70,000	70,000	140,000	70,000	30,000
諸会費	学生健康保険互助組合費	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
	合計(年額)	823,000	873,000	1,123,000	1,123,000	1,193,000	1,123,000	1,011,000
	春学期	513,000	538,000	663,000	663,000	698,000	663,000	607,000
	秋学期	310,000	335,000	460,000	460,000	495,000	460,000	404,000

注 本学学部卒業生および本学博士前期課程(修士課程・専門職学位課程含む)を修了した者が他の研究科の博士前期課程・修士課程に入学する時の入学金は1/2。本学学部より博士前期課程・修士課程へ「飛び入学」するときの入学金は1/2。理工学研究科建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系のみ1年次の実験実習料は140,000円。文学研究科臨床人間学専攻臨床心理学専攻の大学院生は、学外施設での実習費を別途徴収します。

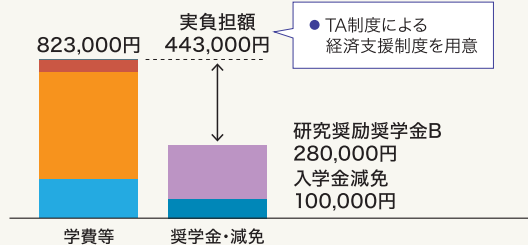
大学院ファイナンシャル・プラン モデルケース

【博士前期課程（1年生／明治大学学部から進学）】

- 理工学（建築・都市学専攻 国際建築都市デザイン系を除く）
- 農学（農業経済学専攻を除く） ■先端数理科学

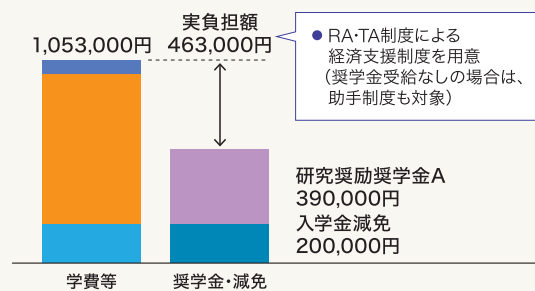


- 法学 ■商学 ■政治経済学 ■経営学 ■情報コミュニケーション
- 教養デザイン ■国際日本学

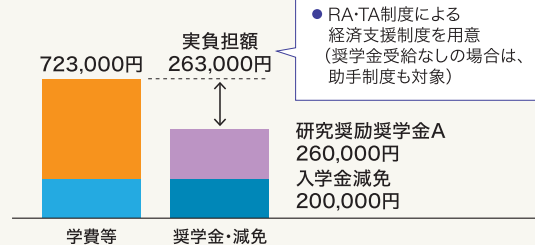


【博士後期課程（1年生／本学大学院から進学）】

- 理工学 ■農学（農業経済学専攻を除く） ■先端数理科学



- 法学 ■商学 ■政治経済学 ■経営学 ■文学 ■情報コミュニケーション
- 教養デザイン ■国際日本学 ■グローバル・ガバナンス



研究活動への助成制度により研究活動の負担を軽減

※ 例示はあくまでモデルケースですので、各種制度が適用できるかどうかは各自の状況により異なります。

※ 研究奨励奨学金は成績優秀者への奨学金で、博士後期課程(A)は30%程度が、博士前期課程(B)は20%程度が採用されています（採用率は毎年度異なります。金額は2025年度の額です）。

■ 博士後期課程

(単位:円)

科目	研究科(専攻)	法学/商学/政治経済学/経営学/文学/情報コミュニケーション/教養デザイン/国際日本学/グローバル・ガバナンス	理工学/先端数理科学	農学	
				農芸化学・農学・生命科学	農業経済学
学費	入学金		200,000	200,000	200,000
	授業料		520,000	780,000	780,000
	実験実習料		-	70,000	70,000
諸会費	学生健康保険互助組合費	3,000	3,000	3,000	3,000
	合計(年額)	723,000	1,053,000	1,053,000	935,000
	春学期	463,000	628,000	628,000	569,000
	秋学期	260,000	425,000	425,000	366,000

注 本学博士前期課程(修士課程・専門職学位課程含む)修了者の入学金は免除。

本学学部卒業生で、他大学の大学院博士前期課程(修士課程・専門職学位課程含む)を修了した者の入学金は1/2。

明治大学大学院の学生支援制度

国際交流支援

留学制度

本大学院では、大学院生の研究推進を主な目的とした海外留学制度を利用することができます。この制度のうち「協定留学」もしくは「認定留学」により、休学することなく中長期で留学することが可能です。帰国後、留学先で修得した単位が一定の条件の下で本大学院の課程修了要件単位として認定される場合もあります。また、一部の研究科では、海外の大学院へ留学できる「短期留学プログラム」を実施しています。

詳細は国際教育センター発行の「海外留学の手引き」や本学ホームページを参照してください。

明治大学グローバル・ヴィレッジ Meiji Global Village : MGV

外国人留学生と日本人学生が共に生活する「学びの場」

本学では国際化および共創学習・教育の推進の一環として、和泉キャンパスに国際混住寮である「明治大学グローバル・ヴィレッジ(Meiji Global Village: MGV)」を運営しています。

この国際混住寮は、単なる学生の居住の場ではなく、外国人留学生と日本人学生が学習スペースや交流スペースを共にしながら生活し、国際コミュニティを形成していく「学びの場」としても位置づけられています。居室は、生活の中で交流が自然と生まれるよう、リビングや水回りなどを6つの個室がシェアするユニットタイプで、計216室・36ユニット設置されています。また、1階中央部にはレストラン・リビング・キッチン・プレイルーム・学習室などの共用空間が設けられ、学びのコモンズを重視した構成となっています。

さらに、共用空間での各種活動が有機的に展開できるよう、寮生として住みながら他の寮生を支援する学生を「レジデント・アシスタント」「ジュニア・レジデント・アシスタント」として、それぞれ6名、計12名を配置し、各々のレベルのコミュニティが適切に形成・運営されるよう、日々の生活支援も含めて様々なサポートを行っています。



海外協定校

47カ国・地域 278大学

(2026年1月現在)

留学を希望する大学院生への主なサポート

■ 奨学金制度

明治大学外国留学奨励助成金、明治大学学生海外トップユニバーシティ留学奨励助成金 等

■ 留学予定者語学講座受講料助成

留学予定のある大学院生を対象に、語学講座受講料助成を行います。

■ 外国語能力検定試験受験料助成

各種外国語能力検定試験受験料助成を行います。

■ 留学相談(カウンセリング)

資格を持った留学カウンセラーが留学に関する様々な質問や相談に応じます。

■ 留学志望者対象英語プログラム

留学に必要な語学力強化を目的としたTOEFLやIELTSの対策講座等を行います。

研究科間共通科目による英語研究力教育

グローバル化の進展は、研究活動においても急速に進んでおり、分野を問わず国境を越えた国際的な舞台での研究活動が不可欠になっています。研究活動におけるグローバル化は、わが国の科学の発展に寄与し、国際的な学術交流は今後ますます重要になってきます。世界各国の研究者との学術交流や研究成果を世界に発信することは、将来、研究者を志す大学院生にとって、多様な視点により、研究の幅を広げるためにも重要な意味を持っています。

国際的な研究活動を実践するためには、専門分野における研究を深めるとともに、外国語による研究を可能とする能力の習得が必要となります。そのため、本大学院では、英語による論文の執筆や、研究発表へとつながる実践的な指導を行うため、「学術英語コミュニケーション」および「英文学術論文研究方法論」の2科目を研究科間共通科目として設置し、大学院生が国際的な舞台上で活躍出来る能力の育成につとめています。

